

たかね

高根・北大平・関口・黒田
中原・朝日中野・薦川・岩沢
まちづくり通信

Vol.
33
令和2年10月1日号



みどり小 6年 今井 煌 るか **〈朝日中野〉**
今年もたかねまちづくり協議会では、「笑顔であいさつ運動」の一環として、各集落で行っているラジオ体操への参加を呼びかけました。例年より短い夏休みとなりましたが、園児からお年寄りまで、朝から元気に体を動かしていました。今回は、参加した小学生から感想を頂いたので、紹介します。

みどり小 6年 宇鉄 天惺 てんせい **〈北大平〉**
ぼくは、北大平で1人の小学生です。でも、地域のおじいさんやおばあさんが一緒にラジオ体操をしてくれます。地域の方々といっしょに交わしたり、体操をしたることができるので、朝早起きするのは大変ですが、待っていてくれると思うと頑張れます。一日も休まずに参加できて良かったです。



ラジオ体操に参加して

今年もたかねまちづくり協議会では、「笑顔であいさつ運動」の一環として、各集落で行っているラジオ体操への参加を呼びかけました。例年より短い夏休みとなりましたが、園児からお年寄りまで、朝から元気に体を動かしていました。今回は、参加した小学生から感想を頂いたので、紹介します。

おらどごの!



地域の人にスポットをあてるコーナー
高南保育園 園長 齋藤 正樹

高南保育園に着任して

4月より高南保育園にお世話になり、半年が過ぎました。朝日地区での勤務は2度目になります。

当園は、全園児52名の小さな保育園ですが、異年齢同士の交流も盛んで、みんな仲良く元気いっぱい過ごしています。また現在、新型コロナウイルス感染症予防という、今までにない状況下ですが、地域の皆様に、温かいご理解ご協力を頂きながら園運営を行っています。

6月の交通安全教室では、地元の交通安全指導員、駐在の方から、和やかな雰囲気の中、丁寧に指導して頂きました。また8月の行事「おまつりごっこ」では、年長児が甚平や浴衣を身にまとい、とても華やかな雰囲気の中、子ども達がいまじく参加していたのが印象的でした。今後とも地域とともに歩む保育園を目指して、職員一同協力して保育にあたっていききたいと思っています。子ども達の元気パワーを地域にも発信していきますので、皆様方の応援よろしくお願ひします。散歩で園児を見かけた際は、気軽に手を振ってください!

先生略歴

- ◎氏名：齋藤正樹
- ◎出身地：飯野桜ヶ丘
- ◎趣味：歩き旅、山歩き
- ◎赴任先
 - H24～H25 三面保育園
 - H26～H27 山辺里保育園
 - H28～R1 山居町保育園
 - R2～ 高南保育園

横断歩道を渡る練習



交通安全教室の様子
しっかり学んだよ



かわいい商品がずらり!

おまつりごっこの様子



さかなつりブースの様子



発行・お問い合わせ

発行 たかねまちづくり協議会

- 事務局 〒958-0251 新潟県村上市岩沢5611番地 (村上朝日支所 地域振興課内)
- 連絡先 tel.0254-72-6881 fax.0254-72-MAIL as.shinko-chiiki@city.murakami
- HP でも活動の様子を公開しております <http://www.city.murakami.lg.jp/site/takan>



たかねまち協の公式 Facebook ページを開設いたしました。Facebook ユーザーの方は、ぜひ「いいね!」をお願いします。

facebook たかねまちづくり協議会

編集後記

今回もたくさんの方々のご協力をいただきながら、「たかねまちづくり通信」第33号を無事に発行することができました。ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。今年も新型コロナウイルスの感染症対策の為に、新しい生活様式が取り入れられました。そんな中、大切な人達と笑い合える何気ない日常が、いかに大切かを改めて実感しています。まだまだ続くコロナ禍ですが、周囲の人たちと笑顔で声を掛け合いながら、乗り切っていきたいと思います。(相馬 智里 高根)



高根地区の歴史を「紹介」

海沼 順一（関口集落）

今回は海沼さんが調べてくれた、関口集落、旧高南小学校（黒田尋常小学校）にまつわる歴史や偉人についてご紹介します。

嘉納治五郎師範は関口集落に2度来訪している

昨年のNHK大河ドラマ「いだてん」で東京オリンピックを題材とし、放映されました。その中に嘉納治五郎師範が登場します。
師範は摂津国（現神戸市東灘区）に生まれ、10歳の時、父と一緒に上京して勉学に励み、20歳で官立東京開成学校（現東京大学）を卒業され、卒業後はスポーツ、教育者、書家として活躍されました。21歳で講道館柔道を創設、その後第五高等学校（現熊本大学）校長、高等師範学校（現筑



2列目中央が嘉納治五郎師範



中央が嘉納治五郎師範

波大学）校長、アジア初のIOC委員、大日本体育協会設立初代会長、日本が初参加となったストックホルムオリンピックに団長として参加、貴族院議員等を歴任、昭和15年東京オリンピック開催に尽力（日中戦争の激化により中止）、昭和13年5月4日カイロでのIOC総会からの帰途途上、氷川丸の船内で肺炎のため77歳で逝去されました。
この偉大な嘉納治五郎師範が2度、関口集落を来訪しています。

横山巖氏と嘉納治五郎師範の関わり

横山巖氏は明治28年12月5日、関口の地主本横山家に誕生、明治44年旧村上中学校から編入試験を受け、慶応義塾普通中等課程に入塾、早々講道館に入塾して治五郎師範と出会います。師範は慶応義塾の学長福沢諭吉と親交があり、慶応義塾での講義、柔道指導も行っていたことから師弟関係となりました。
大正2年、巖氏が学業を終え帰郷。初めは座敷で柔道指導していましたが、大正5年屋敷内に柔道場「尚武学館」を建設、集落内外の青少年に学問と柔道を指導していました。

大正15年5月19日、尚武学館15周年記念柔道大会を開催、この時、治五郎師範と講道館柔道家等30人超を招聘し、賄い費用は全て巖氏が負担



昭和11年2回目の関口来訪

尚武学館での練習風景

したそうです。また、大会は黒田尋常小学校（旧高南小学校）で開催され、自宅から会場までの4kmの悪路を自費で改修工事したとの話もあります。
2度目の治五郎師範来訪は昭和11年9月、尚武学館25周年記念大会に巖氏が招聘されています。この時は女子柔道家2名と随行員を伴って来訪し、旧村上高等学校（現村上桜ヶ丘高校）で模範演技と講演をしています。この時書かれた「精力善用」は現在でも朝日みどり小学校の多目的ホールに掲げられています。

巖氏は昭和10年11月に高根村村長に就任、村長職務と柔道指導等多方面において活躍し、柔道指導者として県下柔道大会などでは優秀な結果を残しました。
村長在籍中、昭和12年には黒田尋常小学校を建設、校舎内には床にバネを設置した、当時最新鋭の柔道室を設け、柔道指導の強化にあたりました。尚武学館が最も栄えた頃、昭和15年4月21日創立30周年県下柔道大会には2代目講道館館長、南郷次郎氏（師範の甥）をも招聘しています。

残念ながら巖氏は、昭和17年7月12日の執務中に、脳卒中で倒れ、逝去されました。47歳の若さでした。現職村長、柔道の先駆者、これまでの功績から盛大な葬儀が行われたそうです。

地域おこし協力隊

地域おこし協力隊の活動紹介

栗原 成美 隊員の活動

今年開催できたイベントは「棚田竹灯籠×さなぶり」と「天蓋山籠山寺 迎え火 竹灯籠」です。竹灯籠は長い竹に模様を作ったものと、集落内の家紋をデザインしたものと特徴的な灯火になりました。長い竹の模様も灯りに照らされると綺麗でしたが、



竹灯籠づくりの様子



反対側のキャンドルを入れる穴の方が照らされて綺麗だという意見もありました。また「家の家紋わかる？」など竹灯籠を見に来たご家族での会話が聞こえて来たのが印象的でした。他に計画したイベント開催は難しく、この状況下ですが出来ることを探してきました。

コロナ禍の現在も、高根集落に在籍している2人の地域おこし協力隊は様々な活動をしています。今回はその活動の様子を一部ご紹介いたします。

高橋 洋 隊員の活動

四月から新しく炭窯を造っています。当初の計画では2ヶ月で作り上げる予定でしたが失敗続きでうまくいきません。それでも集落の方々に協力いただきなんとか九月には初窯の出荷ができる見通しです。出来上がったナラの木炭はみどりの里で販売いたします。是非使ってみてください。



龍山寺の階段に飾られた竹灯籠

高根にある家々の家紋をデザインした竹灯籠

高根区のHPが開設!

HP内の「集落だより」では行事やイベント、日々の出来事などを情報発信しています。どなたでもご覧いただけますので、ぜひ覗いて見て下さい。



←読み込んでどうぞ

高根にこっちゃん

高根集落だより

